

平成27年度 新幹線鉄道事業本部実行計画

I. 基本方針

本年度も、東海道新幹線における安全・安定輸送の確保を最優先に、脱線・逸脱防止対策の推進をはじめとする地震対策、土木構造物の大規模改修工事、N700Aの投入およびN700系の改造工事、異常気象や大規模自然災害対策等を、関係会社と一体となって着実に推進する。

工事等に当たっては、昨年度に重大労働災害が発生したことを重く受け止め、安全を最優先にルール及び基本動作を遵守する指導をこれまで以上に徹底して行う。

また、お客様のご利用動向を踏まえて、「のぞみ10本ダイヤ」を活用した弾力的な列車設定等に取り組み、さらなる輸送量の増加を目指すとともに、ブランドクオリティサービス運動を引き続き推進して、お客様に選ばれる輸送サービスの充実に努める。

さらに、平成27年3月に実施した最高速度285km/hへのスピードアップにより利便性を向上させるとともに、異常時等におけるダイヤの安定性の向上を図る。

こうした各種課題を着実に進めるため、収益力の強化と技術レベルの不断の向上に取り組むとともに、設備投資を含めた業務執行全般にわたる効率化と低コスト化を徹底し、経営体力の充実に努める。また、これまでに培った力を土台として、業務運営体制の再構築に引き続き取り組む。

これら業務の遂行にあたっては、社員一人ひとりがお客様の期待に応えるべく高い目的意識を持って自己研鑽に励み、鉄道従事員としての高い自覚と規律規範意識に基づいた完璧な仕事を目指すとともに、明るく、楽しく、前向きに仕事ができる職場環境を構築し、各部門が連携して全力で取り組む。

II. スローガンと重点目標

「安全」「正確」「快適」「便利」を目指して
全員が心を一つに、「高い自覚」と「完璧な仕事」で
最高の輸送サービスを提供しよう！

- 安全・安定輸送確保に向けた着実な取り組み
- お客様に選ばれる輸送サービスの充実
- 組織の業務遂行力の向上と低コスト化の推進
- 社員の意識・意欲の向上と技術力の強化
- 健全で良好な労使関係の一層の充実

Ⅲ. 重点目標と重点施策

○ 安全・安定輸送確保に向けた着実な取組み

- ① 物事の本質を主体的に考え、理解するNT活動等を推進することにより、安全を最優先とするルール及び基本動作の遵守を徹底し、関係会社と一体となって運転事故および労働災害の根絶に取り組む。
- ② 特に、重大災害に係るルール遵守の指導をこれまで以上に実施するとともに、安全パトロールを強化して「作業実態の把握」と指導改善を行い、ルール遵守の徹底を図る。
- ③ 脱線・逸脱防止対策を最大限に推進する。
- ④ 不断のコストダウンを重ねながら大規模改修工事を着実に進める。
- ⑤ 車両所建物の耐震化を完了させるとともに、浜松工場の建替・耐震補強工事を引き続き推進する。
- ⑥ 台風・局地的集中豪雨・雪などの自然災害対策を深度化し、きめ細かく状況を把握して、遅延時分の短縮に努める。
- ⑦ 沿線支障樹木の伐採を継続的に推進する。
- ⑧ 軌道、ATC装置、周波数変換装置等の取替、次世代架線の導入を不断のコストダウンを重ねながら計画的に推進する。
- ⑨ 中央新幹線品川駅および名古屋駅の駅部工事にあたり、中央新幹線建設部等と連携して着実に工事を推進する。
- ⑩ セキュリティ対策を着実に推進する。
- ⑪ 環境対策を着実に推進する。
- ⑫ 西日本、九州との連携を強化し、一層の安全・安定輸送を確保する。

○ お客様に選ばれる輸送サービスの充実

- ① 「のぞみ10本ダイヤ」等を活用して、お客様のご利用の多い時間帯を中心に、需要にあわせた弾力的な列車設定に引き続き取り組む。
- ② 平成27年3月に実施した最高速度285km/hへのスピードアップにより、利便性を向上させるとともに、異常時等におけるダイヤの安定性の向上を図る。
- ③ 新型車両N700Aを引き続き投入するとともに、N700系の改造工事を完了する。
- ④ 新大阪引上線等を有効に活用し、災害等の異常時におけるダイヤの安定性の向上を図る。
- ⑤ ブランドクオリティサービス運動等の取組みを推進し、東海道新幹線の強みを活かした快適・便利な輸送サービスを強化する。
- ⑥ 新型可動柵の設置工事を引き続き推進し、名古屋駅、京都駅で順次使用を開始する。
- ⑦ 新型の自動改札機および発車標等への取替を順次行い、お客様への案内画面をより分かりやすくするなど、サービス向上を図る。
- ⑧ 社員およびお客様への的確な情報提供等の取組みを推進するとともに、駅および車内における通信環境の充実を図る。

- ⑨ EX会員拡大や観光キャンペーンの展開等による増収施策を引き続き推進する。
- ⑩ X0編成を活用した将来の技術開発を推進する。
- ⑪ 北陸新幹線開業による当社エリアへの誘客につながる施策を推進する。

○ 組織の業務遂行力の向上と低コスト化の推進

- ① 安全の確保を大前提としつつ、現行の業務運営体制における効率化の余地について検証を行い、さらなる効率的な業務運営体制の構築を推進する。
- ② 知識・技術力の向上を図るとともに、業務の組み立ての合理性を徹底的に追求することにより、業務運営全般にわたり低コスト化を深度化する。
- ③ 設備投資について、維持更新投資を含め、一層のコストダウンに取り組み、投資効果を向上させる。
- ④ 車両の新製およびメンテナンスを含めたトータルのコストダウンを推進する。
- ⑤ 脱線・逸脱防止対策や大規模改修工事等の各種施策の推進において、効率的な施工方法を追求し一層の低コスト化に取り組む。

○ 社員の意識・意欲の向上と技術力の強化

- ① 全社員が日頃から鉄道従事員としての規律規範意識と高い自覚を持ち、行動するよう徹底する。
- ② NT活動の深度化に取り組む。
- ③ ベテラン社員の活用も含めた若手社員への技術力の着実な継承、教育の一層の充実を図り、次代を担う社員を育成する。
- ④ グループ会社と一体となって、技術教育・訓練の推進、管理要員の育成、業務遂行能力向上支援、および優秀な人材の確保等に努める。
- ⑤ 各系統毎に統一した知識・技量を把握・向上させる仕組みを導入し、的確な教育を実施する。
- ⑥ 社員の仕事に対する意識を高めるとともに、自己研鑽を奨励することにより、能力の向上に取り組む。
- ⑦ 実践的な訓練等を繰り返し、異常時即応能力の強化を推進する。
- ⑧ 総合研修センターを活用し、グループ一体として安全やサービスに主眼を置いた教育の一層の充実に取り組む。
- ⑨ 「チャレンジ東海」活動や提案活動を社員の能力向上と職場活性化の重要な取り組みとして推進する。
- ⑩ 系統を超えた風通しの良い職場風土を構築する。

○ 健全で良好な労使関係の一層の充実

- ① 「安全」「正確」「快適」「便利」なサービスを提供し続けるためにも、引き続き健全な労使関係の一層の充実に取り組む。